

5歳児すこやか相談データ

すこやか子育て =2023=



この冊子は、文部科学省発行の「家庭教育手帳乳幼児編 ドキドキ子育て」を引用・参考にして作成しています。

はじめに

この冊子は、「5歳児すこやか相談」の対象となったお子さんの保護者の皆さま全員にお配りしています。

この時期、日々の子育ての中で特に大切と思われることについて、文部科学省発行の「家庭教育手帳」を参考にして作成しました。また、今回の「5歳児すこやか相談」の相談票にご記入いただいた集計結果（すこやか相談データ）も掲載しています。ぜひお読みいただき、子育ての参考にしていただければ幸いです。



目次

●はじめに

●生活リズムは、子どものすこやかな成長のためのエネルギー源

- 一日のスタートは朝食から……………1
- 早寝早起き朝ごはん……………2

●遊びが子どもを大きくする

- 子どもたちの体力が低下しています……………3
- 子どもは遊びが仕事です……………4
- ルールってだれのためにあるんだろう……………5
- 年上・年下の友だちと遊ぶことで経験をひろげよう……………6
- テレビやゲームと上手につきあおう……………8
- まんが「ほんわか家」の場合 その1・その2……………9・15
- 親子で絵本を楽しみましょう……………10
- 子どもの行動には理由があります……………11

●ほめることは子どもを認めること

- 良いことをしたときはしっかりほめてあげる……………16
- 好きなこと・良いところを増やしていこう……………20
- 感情にまかせて『怒る』ことと『叱る』ことは違う……………21
- 「児童虐待」とは?……………22
- 親も自分時間を楽しもう……………24
- 特別な支援が必要な子どもがいます……………25
- 鎌倉市発達支援室では
さまざまなご相談をお受けしています……………26

●すこやか相談データ

- ・生活のようす……………1～3
- ・遊びのようす……………4～7・10
- ・ことば・コミュニケーションのようす……………12～14
- ・行動・情緒のようす……………17～19
- ・育児のようす……………20・23
- ・相談について……………24

●相談機関一覧……………27

●平和都市宣言・鎌倉市民憲章……………28

●生活リズムは、子どものすこやかな成長のためのエネルギー源 《一日のスタートは朝食から》

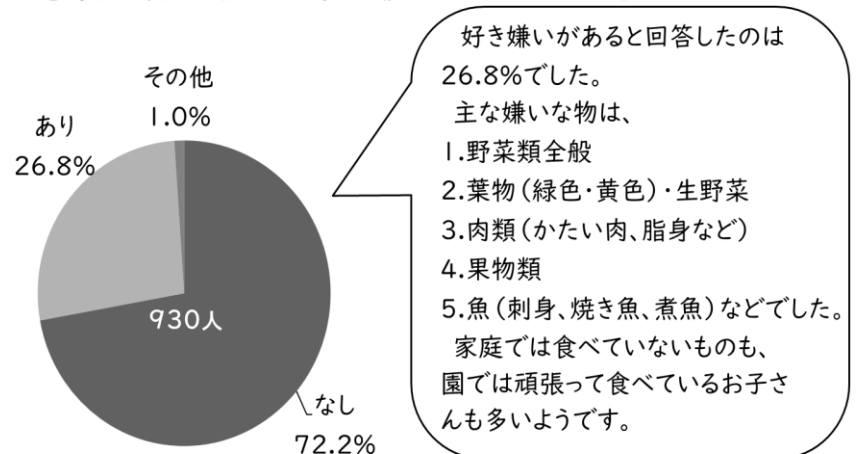
なぜ、朝食をとることは大切なのでしょうか。

朝食は一日の生活のスタートです。朝食をとることにより身体にエネルギーを補給し、集中力や意欲、体力を発揮し持続させ、一日の身体のリズムを整えることができます。

特に、子どものころは食生活を含めた基本的な生活習慣が形成されていく大切な時期です。朝食をしっかりとる習慣を子どものころに身につけることは、生涯を通じて健康な生活をおくる基礎を培うことにもつながるものです。

すこやか相談データ

○食べ物の激しい好き嫌いがありますか。



《早寝早起朝ごはん》

規則正しい睡眠と毎日の朝ごはん。簡単なようではいてけこうたいへん。

ご家族みなさんの協力が必要なことでもありますね。

幼児期のお子さんの生活は園生活が中心であることがほとんどでしょう。

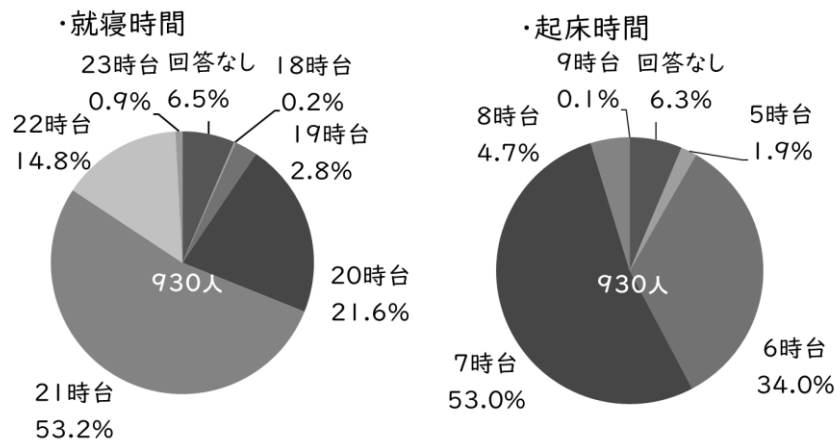
元気よく一日をスタートして、園生活をめいっぱい楽しんでもらいたいですね。

朝は食が細いお子さんもいます。十分な水分と食べやすい定番で朝をスタート

してみてくださいはいかがでしょう。排泄リズムにもつながりやすくなります。

すこやか相談データ

◎お子さんの睡眠の様子はどうですか



最近の子どもたちの生活は夜型の生活になっていると言われていますが、相談票の回答からは、目立った夜型傾向は見られませんでした。早寝早起きは理想ですが、家庭の状況によってはなかなか理想通りにはいきませんよね。ただ、子どもの好きなようにさせるのではなく、家庭のルールとして一定の時間を決めることは大切なことです。

●遊びが子どもを大きくする

《子どもたちの体力が低下しています》

子どもたちの成長にとって、楽しく身体を動かして遊ぶことはとても大切です。

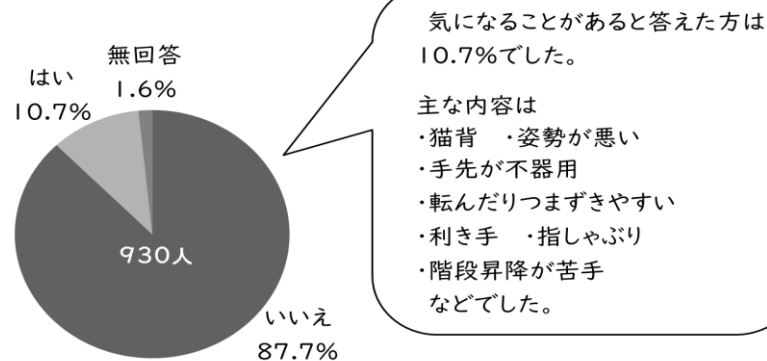
身体を動かすことによって得られる体力は、人間の活動の源となるものですが、子どもたちの体力は低下してきています。

また、乳幼児期は、走る、跳ぶ、投げるなどという基本的な動きを学習し、運動の仕方を身につける大切な時期です。

親子のふれあいや仲間との交流を深めながら、さまざまな外遊びを通して、いろいろな身体の動きを体験させるとともに、身体を動かす楽しさを教えましょう。

すこやか相談データ

○手や体の使い方、姿勢で気になることはありますか。



《子どもは遊びが仕事です》

遊びは子どもの心の成長にとっても大切です。特に幼児は遊びを通して感覚を働かせ、運動をし、ものをつくり、想像します。

子どもは遊ぶことで、自主性を育むことができます。子どもの「やってみたい」「遊びたい」という自発的な気持ちを尊重し、大人がそれを見守り、時には思いきり一緒に遊びましょう。

子どもにとって遊びがいかに大切かを認識して、ゆったりのにびのびと遊ばせましょう。

すこやか相談データ

○ご家庭ではどんな遊びをしますか。 (3,078 个回答 *重複回答あり)

- 1位 ごっこ遊び ーままごと、戦いごっこ、人形遊びなど
- 2位 手先を使う遊び ーブロック、折り紙、工作、粘土など
- 3位 お絵かき・ぬり絵
- 4位 体を動かす遊び
- 5位 カードゲーム
- 以下 プラレール・ミニカー、絵本・本、TV・DVD、歌・踊り、家族きょうだいと遊ぶ、電子ゲームなどでした。

ごっこ遊びはこの年齢の子どもにとって一番楽しい遊びのようです。想像力や人と関わる力を育てることができる遊びのひとつといえるでしょう。体を動かす遊びでは、公園などで追いかっこやボール遊び、水遊びなどの回答も多く、友だちやきょうだいと生き生きと遊んでいる姿が、皆さんの回答から浮かんできます。

《ルールってだれのためにあるんだろう》

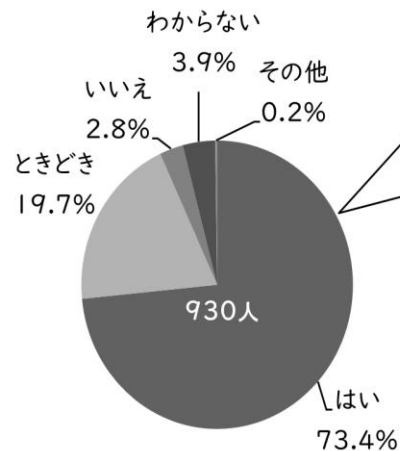
子どもたちは、家庭でのルールや約束ごとの中で、家族から教わりながら人との関係の在り方や社会のルールの大切さを学んでいきます。

家庭のルールには、あいさつ、家に帰る時間、寝る時間、きちんとした姿勢などの生活上のルールもあれば、相手のいやがることをしない、うそをつかないといった道徳上のルールもあります。

身の回りのことや生活習慣については家庭でわかりやすいルールをつくり、実際に親がやって見せてあげるのもよいでしょう。また、子どもの意見を聞いて一緒にルールをつくるという姿勢も大切です。

すこやか相談データ

○鬼ごっこやかくれんぼなどルールを守って遊べますか。



「ときどき」という回答を含めると、93.1%のお子さんがルールを守って遊んでいます。集団生活を通した子ども同士のかかわりの積み重ねが、ルールの理解や周囲に合わせて行動する力のもとになっているのでしょう。

《年上・年下の友だちと遊ぶことで 経験をひろげよう》

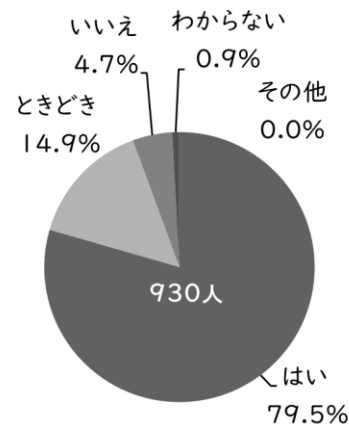
幼児の時期から自分と似たような年代の子どもと遊ぶ機会を持つことは、とても大切です。ものの取り合いのようなけんかはことばの出ない時期でもよく見られますが、こうしたやりとりの中で、子どもは「ほかの人」を知り、「社会性」を学んでいきます。そこでは親同士の関わり方も大切でしょう。

幼稚園や保育所といった集団生活の中に入ることになり、年上・年下の友だちとの関りも増えてきます。その中で、色々な活動や遊びを通して、お子さんの経験をひろげていくことができます。

ご自分のお子さんの興味のある活動を通じて、地域とつながれる機会を親子でさがしてみたいはかがでしょうか。

すこやか相談データ

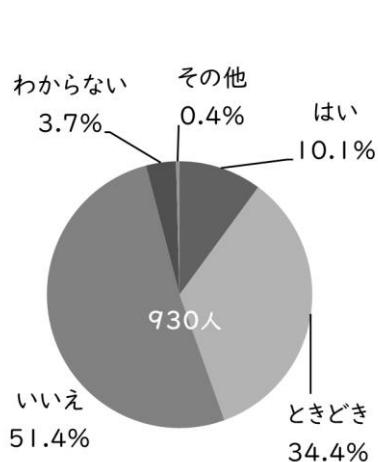
○顔や人、形のあるものの絵を描いて遊びますか。



この年齢になると、自分がイメージしたことやものを絵に描いて表現できるようになります。絵が苦手というお子さんは、自分が描きたいイメージと実際に描けるものとのギャップがあり、それが苦手意識になっている場合があるかもしれません。絵には正解がないため、どう描けばいいのかわからないと思うお子さんもいます。上手、下手ではなく子ども一人ひとりの表現を認めてあげたいですね。

すこやか相談データ

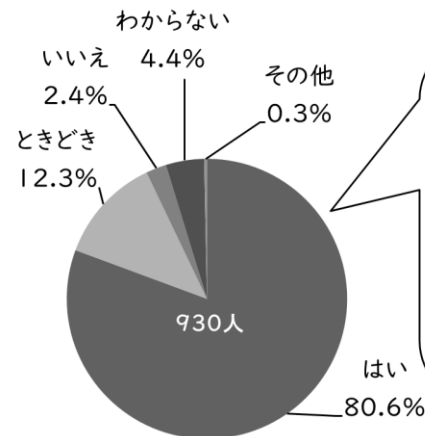
○友だちと一緒に遊ぶよりひとりで遊ぶほうが好きですか。



「ときどき」という回答を含めると、85.8%が友だちと遊ぶ方が好きと回答しています。友だちとの遊びを通し、自分一人ではできない経験をしているのでしょう。時にはケンカやトラブルになって嫌な思いをすることもありますが、その中で人間関係を学んでいくのだと思います。大人はそれを見守り、子ども一人では解決できないときは、手助けしてあげたいものですね。

すこやか相談データ

○はさみを使い、線にそって紙を切ることができますか。



「ときどき」を含めると92.9%のお子さんが、線にそって紙を切ることができると回答しています。ちょっと不器用かなとか、細かい手作業が苦手かな、というお子さんもいるかと思いますが、お子さんが興味のあることを通し、色々な手を使った遊びの経験ができるとうい

《テレビやゲームと上手につきあおう》

子どもたちにとって、テレビやテレビゲーム、スマートフォン（YouTube 等）が身近にある環境が増えてきています。一方で、身体を使った遊びが減ったり、人や自然とふれあう体験が不足したりする等、子どもの遊びの経験の幅が狭まっているかもしれません。

友だちとの遊びや自然体験などの機会を用意し、積極的に参加してみましょう。また、テレビやテレビゲーム、スマートフォン（YouTube 等）などの電子機器については、ルールをつくり、それを守る習慣をつけ、上手に活用しましょう。

例えば、テレビゲームソフトを選ぶ際には、ゲーム内容によって対象年齢を表示するマーク（※）があるので参考にするなどが考えられます。



※対象年齢マーク…CERO（特定非営利活動法人コンピューターエンターテインメントレーティング機構）が行っている家庭用ゲームソフトの年齢別レーティング（格付け）により対象年齢を各テレビゲームソフトに表示しています。各ゲーム内容に過激な暴力表現・性描写、反社会的な内容がどの程度含まれているかなどについて審査し、対象年齢を決定しています。

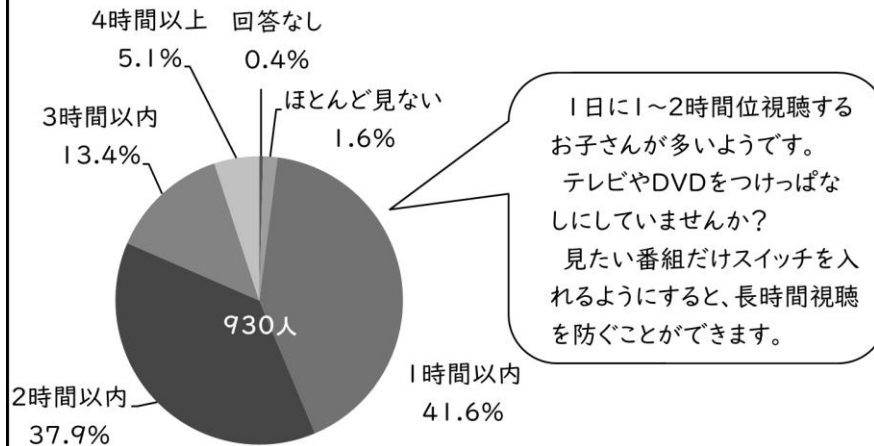
□CEROについて、「レーティング制度」

<http://www.cero.gr.jp/publics/index/17/>



すこやか相談データ

○テレビやDVDを1日どれくらい見ますか。



《親子で絵本を楽しみましょう》

親のぬくもりを感じながら好きな絵本に接し、一緒に共感し合うひときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間になります。

少ない時間でも、食事の時間のように親子の『本の時間』を設けたり、親子で一緒に図書館に行くなど、小さいころから本に親しむ環境づくりを心がけましょう。

ただし、早くから難しい本を読ませるのは子どもの心にストレスを与え、かえって本嫌いにさせかねません。お子さんの興味や関心に合わせて、本を選んでみるのもいいですね。

《子どもの行動には理由があります》

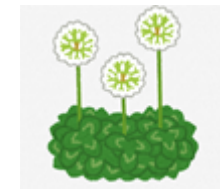
突然、お子さんが怒りだしたり、イライラしたり、困った行動をした時に、大人がその理由をすぐにはわかってあげられないことがあります。自分の気持ちをうまく表せなかったり、感情が爆発することは、幼児期のお子さんには時々みられるのです。

そんな時、大人も感情の高ぶりに巻き込まれそうになりますが、ひと呼吸おいて、ゆったりと関わりましょう。原因がわからなくても、お子さんの気持ちを受け止め、寄り添う姿勢をみせてあげることで気持ちが充足されていきます。

自分の気持ちを伝えることは簡単なようでおずかしいこともあります。

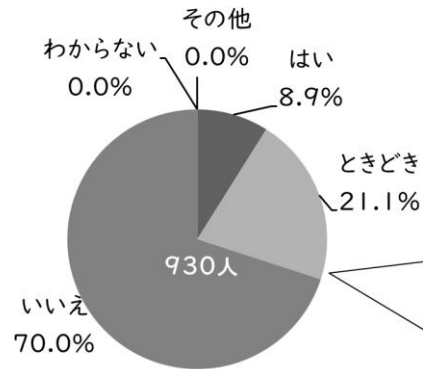
気持ちを出せずにつらい思いをしていないかな？表情やことばと、心の中がちがうのでは…。など、親御さんのアンテナで気が付くこともあるかもしれませんね。

自分の気持ちをわかってもらえると
安心できる



すこやか相談データ

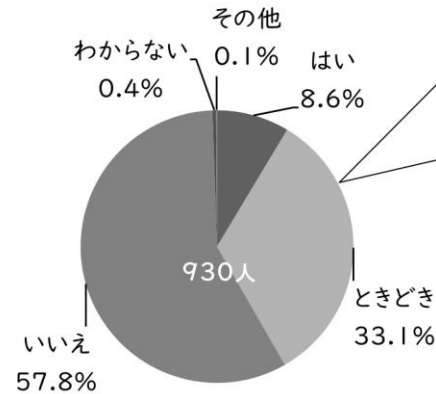
○発音が不明瞭で聞きとりにくいことばはありますか。



「ときどき」「はい」と回答した方が30.0%でした。発音の不明瞭さが気になるのであれば、いちど相談してみるのもよいかもしれません。巻末に相談機関一覧を掲載していますので、参考にしてください。

すこやか相談データ

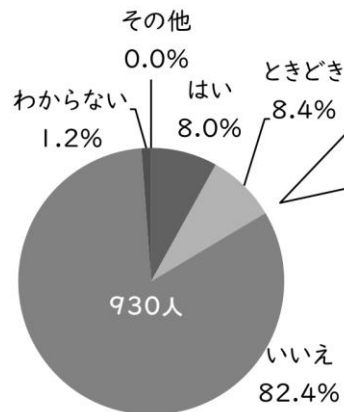
○相手の話しを聞かずに一方的に話すことがよくありますか。



まだ、自分の言いたいことを自分のペースで話したいという年齢ではありますが、少しずつ場面や状況に応じて相手の話をきちんと聞いたり、相手の気持ちを考えることができるようになってきます。普段の家族の会話の中で、お互いに今日あったことを聞きあえるといいですね。

すこやか相談データ

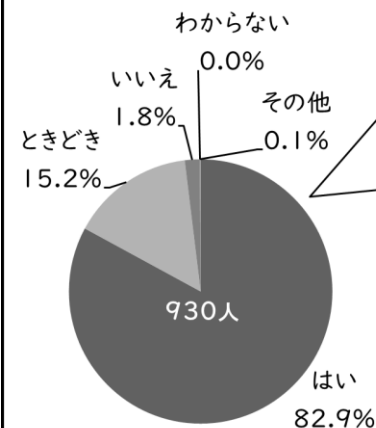
○ことばの発達が同年齢の子より遅れていると感じたことはありますか。



この年齢になると、ことばでのコミュニケーションが主となってきます。自分の気持ちを上手にことばで伝えられないことから、友達関係がうまくいかないということもあるかもしれません。ことばの発達で気になることがある場合には、相談してみてくださいね。

すこやか相談データ

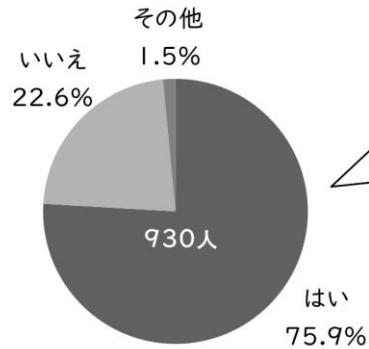
○園であつたできごとを聞いたときに話してくれますか。



園での経験やできごとを家族でお話しているお子さんが多いようです。中には自分からはあまり話さないというお子さんもいるかもしれませんね。「何をしたの?」「どうだったの?」と聞かれるのがイヤだという子もいるかもしれません。その日の園での活動を園の先生に教えてもらった上で、「今日は砂遊びをしたの?」などと聞いてみるとよいかもしれません。

すこやか相談データ

○しりとり遊びができますか。



75.9%のお子さんがしりとり遊び
ができると回答しています。
まだできない、ちょっと難しい
という場合には、「あ」のつくも
のは何かな?」などの、ことば集め
から始めてみるとよいでしょう。

《『吃音(きつおん)』って知ってますか?》



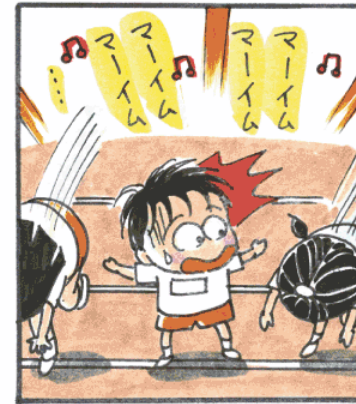
滑らかに話すことができない状態をいいます。

「ああああ あのね」と音を繰り返す、「おーかあさん」と音を伸ばす、
「……ばく」とことばに詰まる等の症状があります。

ことばが急に伸びてくる幼少期に、現れることが多いと言われています。
もし、そのような様子がみられた場合は、慌てず、ゆったりとしたコミュニケ
ーションを心がけましょう。

お子さんが話している時には、先回りや言い直しをさせないで、相づちやう
なずきをしながら、最後までお話を聞いてあげてください。

そして、お子さんに『 ゆっくり、ゆったり 』と話しかけるように心がけ、お子
さんとのやりとりを楽しみましょう。



●ほめることは子どもを認めること

《良いことをしたときは しっかりほめてあげる》

良いこと、できていることを具体的にほめてあげましょう。子どもの良い行動や態度をほめることは、子どもにとって嬉しいだけでなく、自己肯定感を育むことにもなります。『できた』ことを一緒に喜んだり、結果に至るまでの過程をほめてあげたりすることが大切です。感謝の気持ちを伝えることも効果的です。

一方で、叱ることは子どもにとって必要なことです。『ほめる』ことは、『叱らない』ことではありません。何でも手放してほめてしまい、いけないことを叱らずにいると子どもを伸ばすことはできません。

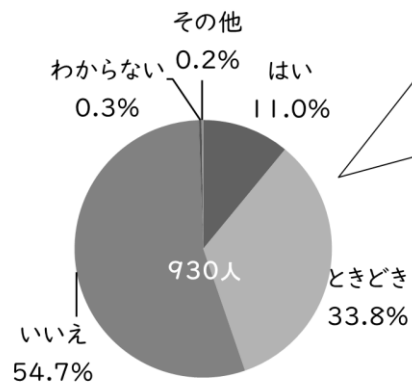
子どもを叱るときには、本人を否定するような表現は避け、「何がいけないのか」「どうすればよいか」を具体的に伝えましょう。また、穏やかに、より近づいて、落ち着いた声で伝えると、子どもに伝わりやすくなります。

「できた」という結果だけではなく、
「できなかったけど頑張ってたね」という
過程も大切



すこやか相談データ

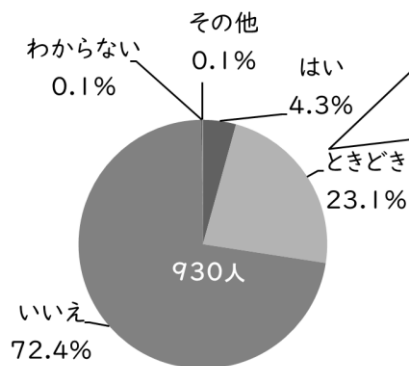
○落ち着きがないと感じることがよくありますか。



個人差はありますが、2~3歳の頃に比べると、落ち着きのなさは少しずつ目立たなくなってきます。落ち着きがない子どもは、どうしても大人から注意を受けることが多くなりがちです。子どもの良いところや得意なことを見つけ、ほめることを心がけましょう。

すこやか相談データ

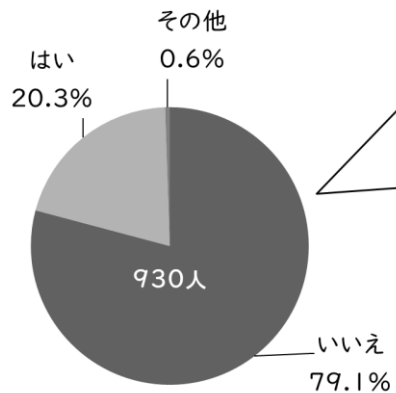
○迷子になったり、急に道路に飛び出したりしてひやっとすることはありますか。



わが子の突発的な行動にひやりとさせられたという経験は多くの保護者があることでしょう。このような衝動的な行動も大分少なくなり、周囲の状況に注意を払って行動できるようになっている年齢です。また、簡単な交通ルールも理解できる年齢です。

すこやか相談データ

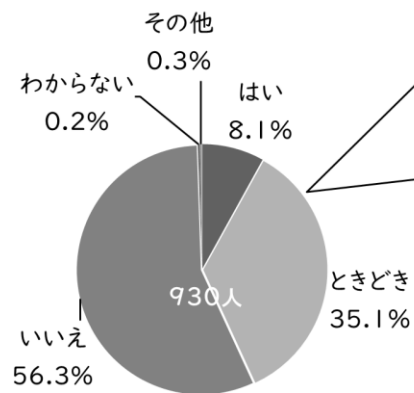
○強いかんしゃくやパニックを起こしますか。



79.1%の方が「いいえ」と回答しています。
理由のわからないかんしゃくはもう起こさなくなっている年齢のようです。
たとえ、かんしゃくを起こすことがあっても、本人の気持ちを聞いてあげたり、大人も伝えたいことをきちんと説明してあげれば、受け止められるようになっているのではないのでしょうか。

すこやか相談データ

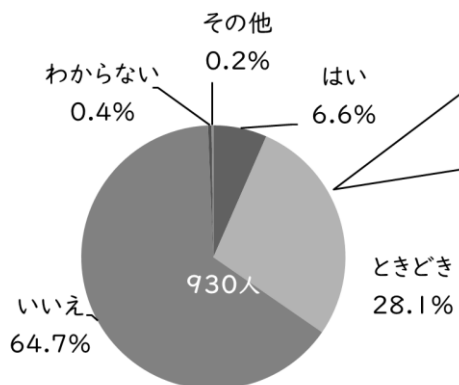
○危ないことやしてはいけないことを注意されてもやめないことがよくありますか。



「ときどき」という回答を含めると43.2%の方が、危ないことなどを注意されてもやめないと回答しています。
大人から頭ごなしに注意されると、反発する年齢です。
「いけません」「ダメ」ばかりではなく、「どうしたらいいと思う?」「それってやっていいことかな?」など、子どもに考えるチャンスを与えてあげることも大切です。

すこやか相談データ

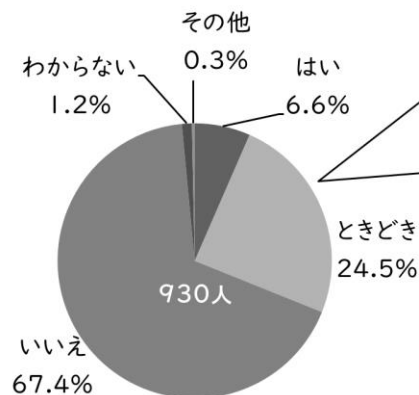
○初めての場所で強い不安を示したり、中に入れなかったりすることがありますか。



初めての場所が苦手というお子さんには、事前にどのような所に行くのか説明し、子どもにイメージを持たせてあげるようにすると不安が軽減されるかもしれません。
誰でも初めてのことや場所は、ちょっとドキドキ・緊張するものですよね。

すこやか相談データ

○同じ順序や方法で物事を行わないと気がすまないことがありますか。



大人でも自分の決めた物事の順番や進め方があるものです。
けれども、必要に応じて違うやり方も受け入れることができます。
自分のやり方でないダメというお子さんもいるかもしれませんが、少しずつ違うやり方も受け入れていけるとよいですね。



《好きなこと・良いところを増やしていこう》

子どもに大切なのは、自信と、自分を大切にできる力です。それは植物の根のようなもので、深く広く張るほど大きな実りをもたらします。表面的なことにとられることなく、その子が大きく育つことを信じて心に豊かな水や栄養を与えましょう。

そして、その水と栄養となるのが、子どもの良いところを見だし、ほめることです。叱るべきときは叱り、ほめるべきときはちゃんとほめる。一つ叱ったら三つほめるぐらいのバランスを心がけましょう。ほめられることで子どもは喜びを感じ、自信や自尊心を育てていくのです。

すこやか相談データ

○お子さんの得意なことや好きなことはどんなことですか。

また苦手なことや嫌いなことはどんなことですか。

・得意なこと、好きなこと(1,991件回答 *重複回答あり)

- 1 体を動かすこと(走る・ボール遊び・自転車など)
- 2 手先を使うこと(はさみで工作、折り紙、ブロックなど)
- 3 お絵かき・塗り絵

ほか、歌を歌う、踊ること、ごっこ遊び、カードゲーム、本・絵本を読む、お手伝い、料理、おしゃべり、電車・ミニカー、文字を書くなどという回答も多くありました。

・苦手なこと、嫌いなこと(991件回答 *重複回答あり)

- 1 生活習慣(食事、歯みがき、身支度など)
- 2 我慢、集中、持続すること
- 3 初めてのことや人

ほか、集団行動、虫や動物、体を動かすこと、片付け、感覚過敏、暗い所、文字を書く、お絵かきなどといった回答もありました。

《感情にまかせて『怒る』ことと『叱る』ことは違う》

しつけは大切ですが、しつけなくては、という気持ちからついたたいてしまい、その行為に歯止めがきかなくなってしまう場合もあります。子育てのイライラとストレスが、子どもへの愛情を忘れさせ、怒るという行動にすりかわっているのではないのでしょうか。

上手な叱り方のヒントは、「叱られる側」の子どもの立場にもなって考えること。「そう言われたら子どもはどう感じるだろうか」「子どもはどう受け止めるだろうか」、まずここから考えてみましょう。

子どもの心や身体を傷つけるような怒り方は、教育的な効果がないばかりでなく、児童虐待につながる可能性もあります。

● 子どもを虐待から守るために

《子どもを虐待から守るための5か条》

①「おかしい」と感じたら迷わず連絡

〈通告してください〉

②「しつけのつもり…」は言い訳

〈子どもの立場で判断〉

③ ひとりで抱え込まない

〈あなたにできることから即実行〉

④ 親の立場より子どもの立場

〈子どもの命が最優先〉

⑤ 虐待はあなたの周りでも起こりうる

〈特別なことではない〉

《「児童虐待」とは?》

- ① 心理的虐待(子どもの心を著しく傷つける言動)
- ② 身体的虐待(なぐる、けるなどの暴力)
- ③ ネグレクト(子どもの監護を怠ること)
- ④ 性的虐待(わいせつな行為をしたり、させたりすること)

全国児童相談所と鎌倉市における児童虐待相談の対応件数

2020年度 全国児童相談所	205,029件	鎌倉市	240件
2021年度 全国児童相談所	207,659件	鎌倉市	247件
2022年度 全国児童相談所	219,170件	鎌倉市	82件

子育ては常に楽しいことばかりでなく、辛くて大変なこともあります。

子育てのストレスが、ときに子どもへの虐待の引き金となっていることも指摘されています。

子育てに悩んだときは、一人で抱え込まず周囲の人に相談して下さい。

気になる子どもや家庭を見つけたときには、迷わず通告して下さい。

子どもや家族を救うきっかけになります。早期発見、早期対応が何よりも大切です。

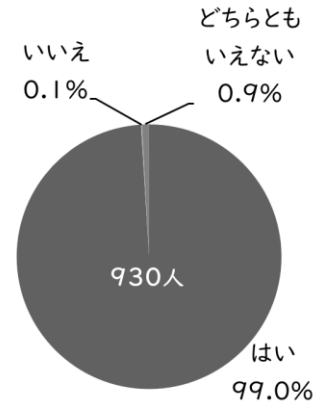
鎌倉市こどもと家庭の相談室 ☎0467-23-0630

鎌倉三浦地域児童相談所 ☎046-828-7050

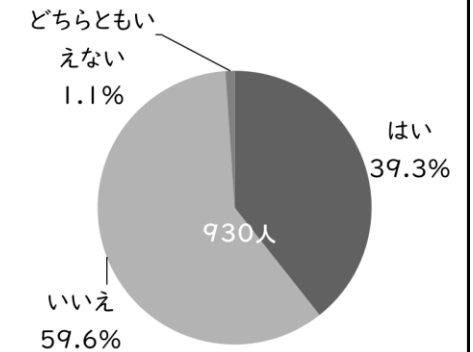
児童相談所全国共通ダイヤル ☎189(いちはやく)

すこやか相談データ

○お子さんと一緒にいて楽しいですか。

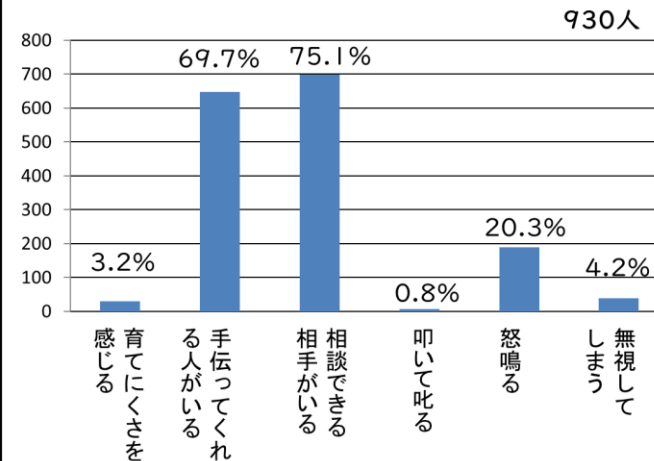


○お子さんの育児は大変でつらいと感じますか。



すこやか相談データ

○育児で当てはまることがあればチェックしてください。



約20.3%の方が怒鳴ってしまうと回答しています。反面、育児を手伝ってくれる人、相談できる人がいると回答した方が共に69%以上いました。

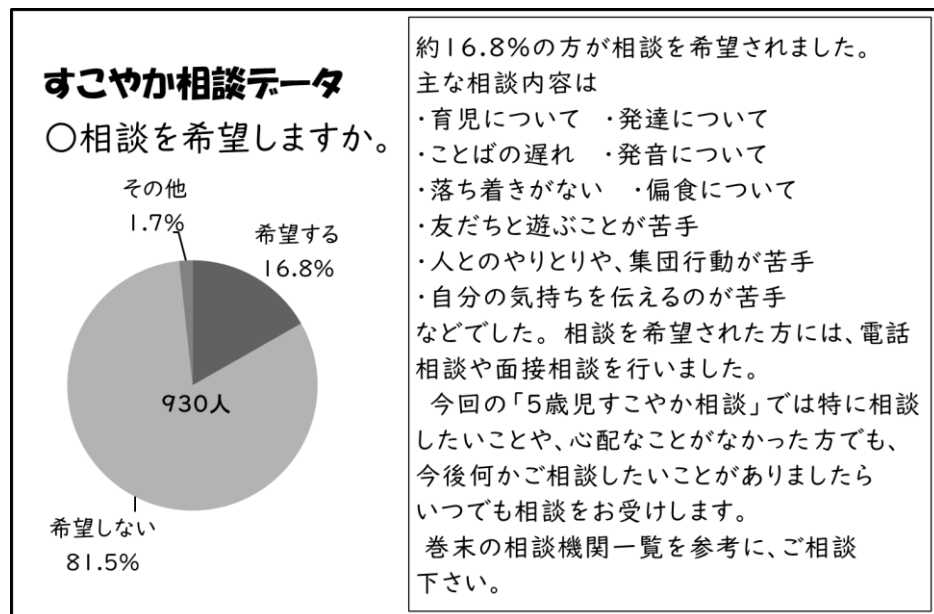


《親も自分時間を楽しもう》

子育ては大事ですが、一日中、わき目もふらずに集中しては疲れてしまいます。親のイライラは、子どもに伝わっていくものです。

大変な子育てだからこそ、自分の時間をつくり、心を健康に保つことが大切です。夫婦で助け合ったり、子育てサポーターや子育てネットワークといった育児を手伝う仲間や仕組みを活用したりして、リフレッシュする時間をつくりましょう。

また、ひとりで悩まずに、気軽に相談してみましょう。



《特別な支援が必要な子どもがいます》

子どもとの関わりの中で「ことばのやりとりがうまくいかない」「いつまでも落ち着きがないけれど・・・」、など気になる様子に気づくことがあります。また、園生活での心配な姿を耳にすることもあるかもしれません。

これらは個人差とされる場合もありますが、LD(学習障害)・ADHD(注意欠如・多動性障害)・自閉スペクトラム症等に見られる特性がその理由の一つかもしれません。これらは脳の働き方、認知の違いが要因であり、子育ての仕方が原因はではありません。また、子ども本人が一番困って、つらい思いをしていることもあります。

発達について心配があったら、一人で悩まず、周囲に相談してみるとよいでしょう。(巻末の相談機関一覧をご覧ください。)お子さんの様子を理解した適切な支援や働きかけがお子さんの笑顔につながります。

「発達障害」とは

発達障害には、自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、学習症(学習障害)などが含まれます。

これらは、脳の働き方に違いがあるという点が共通しています。同じ障害名でも特性の現れ方が違ったり、いくつかの症状を併せ持ったりすることもあります。

相談機関一覧



「鎌倉市発達支援室では
さまざまなご相談をお受けしています。」

巡回 相談

幼稚園や保育園などに専門職が訪問して、園で心配なことや発達等について相談と助言を行います。
利用を希望する場合は園の先生にご相談ください。

○専門スタッフが、お子さんの発達のご相談をお受けします。

【乳幼児の相談】

運動：ころびやすい、手先が不器用、運動発達が気になる、
手足にマヒがある等

ことば：ことばが遅い、発音が不明瞭、吃音（どもる）、
きこえが気になる等

関わり：友だちとうまく遊べない、落ち着きがない、
こだわりが強い、かかわりが一方的等

発達 相談

発達障害等 啓発講演会

市民の皆さんに正しく発達障害を理解していただくための、発達障害等啓発講演会を行っています。

お子さんとの関わり等について、わかりやすいお話を聞きにいらっしやいませんか。講演会の開催時には、園にチラシを掲示しています。

○鎌倉市の相談機関

こども家庭相談課

こどもと家庭の相談室担当 ☎0467-23-0630

お子さんや家庭に関することについて

■スタッフ：専任の相談員

母子保健担当 ☎0467-61-3944

お子さんやご家族の健康に関することについて

■スタッフ：保健師など

発達支援室 ☎0467-23-5130

お子さんの発達に関することについて

■スタッフ：児童指導員 保育士 心理士 小児神経科医師

お子さんのことばや聞こえに関することについて

■スタッフ：言語聴覚士

お子さんの運動発達に関することについて

■スタッフ：作業療法士 理学療法士 リハビリテーション科医師

○神奈川県やその他の相談機関

子育ての悩み全般について

神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所 ☎046-828-7050

民生委員児童委員

（地区の委員は、鎌倉市役所生活福祉課援護担当

☎0467-23-3000 内線 2365）までお問い合わせください。）

慢性疾患等のあるお子さんの育児について

神奈川県鎌倉保健福祉事務所 ☎0467-24-3900

発達障害に関することについて

神奈川県発達障害支援センターかながわエース ☎0465-81-3717

平和都市宣言

われわれは、
日本国憲法を貫く平和精神に基づいて、
核兵器の禁止と世界恒久平和の確立のために、
全世界の人々と相協力してその実現を期する。
多くの歴史的遺跡と文化的遺産を持つ鎌倉市は、
ここに永久に平和都市であることを宣言する。

昭和33年8月10日

鎌倉市

鎌倉市民憲章

制定 昭和48年11月3日

前文

鎌倉は、海と山の美しい自然環境とゆたかな歴史的遺産をもつ古都であり、わたくしたち市民のふるさとです。すでに平和都市であることを宣言したわたくしたちは、平和を信条とし、世界の国々との友好に努めるとともに、わたくしたちの鎌倉がその風格を保ち、さらに高度の文化都市として発展することを願い、ここに市民憲章を定めます。

本文

- 1 わたくしたちは、お互いの友愛と連帯意識を深め、すすんで市政に参加し、住民自治を確立します。
- 1 わたくしたちは、健康でゆたかな市民生活をより向上させるため、教育・文化・福祉の充実に努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉の歴史的遺産と自然及び生活環境を破壊から守り、責任をもってこれを後世に伝えます。
- 1 わたくしたちは、各地域それぞれの特性を生かし、調和と活力のあるまちづくりに努めます。
- 1 わたくしたちは、鎌倉が世界の鎌倉であることを誇り、訪れる人々に良識と善意をもって接します。

お問い合わせ

鎌倉市役所

発達支援室

☎0467-23-5130

こども家庭相談課

☎0467-61-3944

5歳児すこやか相談 すこやか子育て2023

発行 鎌倉市
〒248-8686 鎌倉市御成町18-10
☎0467-23-3000(代表)

発行日 令和6年4月